

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	木質構造制振小委員会	主 査 名：松田 和浩 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)	委員長名：五十田 博 (主 査 名：腰原 幹雄)
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2024 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>小～大規模な木質建物で制振技術がもつ諸問題について検討を行う。具体的には、小規模住宅における制振の定義、制振壁やダンパーの実験法・評価法、制振住宅の設計法、中大規模建物における制振効果、効果的なダンパー設置方法などについて検討する。</p> <p>初年度：課題を整理し、検討に必要な資料を収集する 2 年度：制振グレードの決定に向けた検討を行う 3 年度：小規模住宅の制振設計事例を作成する 4 年度：成果と継続的検討が必要な項目をまとめる</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：松田和浩 (名城大学) 幹事：山崎義弘 (東京工業大学) 委員：五十田博 (京都大学)、金井建二 (住宅構造研究所)、坂田弘安 (東京工業大学)、佐藤孝典 (アイディールブレーン)、佐藤利昭 (九州大学)、篠原昌寿 (構造計画研究所)、照井清貴 (ポラス暮らし科学研究所)、中尾方人 (横浜国立大学)、宮津裕次 (東京理科大学)、山田耕司 (豊田工業高等専門学校)、若島嘉朗 (富山県農林水産総合技術センター)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	無	
2023 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) <small>*能力開発支援事業委員会承認企画</small>	
大会研究集会	1. 木質構造における制振技術の方向性 参加者数 300 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>木質構造の制振技術に関して、以下に示すような成果が得られ、設定した目標は概ね達成した。</p> <p>1. 木造住宅における制振技術の現状について整理した。また、制振性能の指標として繰り返し地震動に対する変形抑制能力に焦点をあて、それをもとにした制振グレードの導入を提案した。</p> <p>2. 中高層木質建物については、制振技術を適用した具体的な設計事例を示すとともに、制振技術を適用する際の課題についても整理した。</p>
委員会活動の問題点 ・ 課題	